

富士宮市埋蔵文化財センターだより

埋文ふじのみや

2018.6
創刊号



創刊号でご紹介！

まいぶん
「埋文センター」ってどんなところ？
展示室ってどうなってるの？

富士宮市埋蔵文化財センター

次号の案内

埋蔵文化財の仕事案内

- ・遺跡の発掘ってどんな事するの？
 - ・センターの中でどんな仕事をしてるの？
- 埋蔵文化財センターの仕事について詳しく解説します。

富士宮市の見どころ案内 6月・7月の予定

富士宮市立郷土資料館企画展示

「強力 ー富士登山案内人の軌跡ー」展

会期 平成30年4月21日(土)～9月9日(日)
場所 富士宮市立郷土資料館(富士宮市民文化会館1階)
住所 富士宮市宮町14番2号
時間 午前9時～午後5時(第3月曜日休館)
*7月7日(土)・8月11日(土)10時30分より
展示解説があります。



富士山お山開き

日時 7月10日(火)
場所 富士山本宮浅間大社 村山浅間神社

富士宮市埋蔵文化財センター

ご利用案内

所在地 〒419-0315
静岡県富士宮市長貴747-1
電話 0544-65-5151
FAX 0544-65-2933
E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

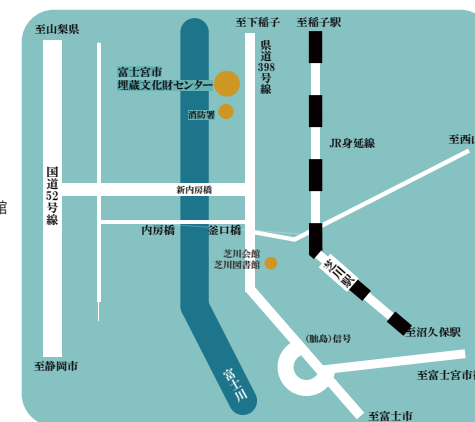
開館日 平日
* 祝日及び年末年始(12月28日～1月3日)は休館
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
* 埋蔵文化財センターの業務時間は
8:30～17:15

見学料 無料
駐車場 あり(無料)



マスコットのモグラの名前を募集中！

交通案内



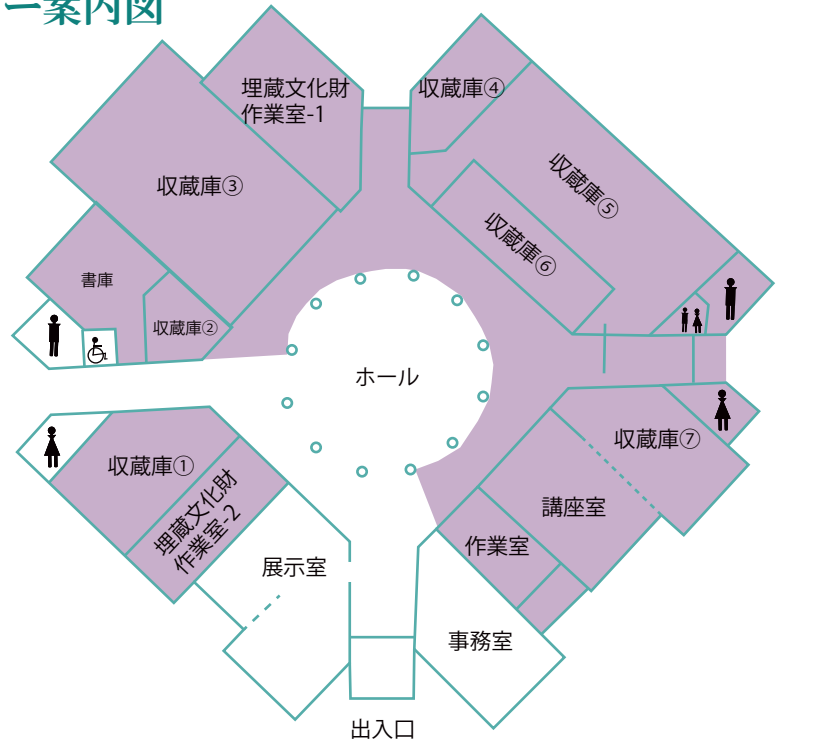
富士宮市埋蔵文化財センターだより 平成30年6月
埋文ふじのみや 創刊号 編集/発行 富士宮市埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターって？

富士宮市埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査・整理・保管を目的として平成26年に開館しました。

ここでは、発掘調査で出土した遺物の整理作業を行っています。整理作業が終了した後は収蔵庫に保管されるほか、一部は埋蔵文化財センター展示室での展示や、市民向けの講座などに活用されます。また、展示室では、国指定史跡の大鹿窪遺跡や史跡「富士山」などをはじめとする富士宮市内の遺跡・史跡の紹介をしています。

センター案内図



遺物はこのように展示してあります

センター内 開放エリア



ホール全景

出土遺物の展示

作業エリア



1 事務室

問い合わせに対応をしています。

2 作業室-1

出土遺物の洗浄・注記・復元・実測などの作業をしています。

3 作業室-2

パソコンを使った編集作業をしています。

4 講座室

会議や講座などに使用しています。

5 書庫

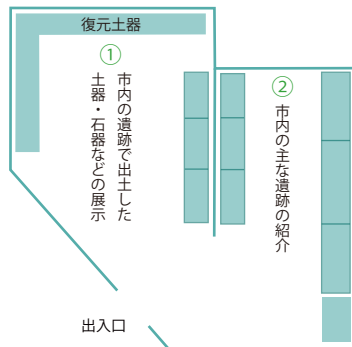
全国の自治体や大学からの報告書を収蔵しています。

6 収蔵庫

出土遺物を収蔵しています。

展示室案内 ①

市内の遺跡で出土した 土器・石器等の展示



縄文時代の土器

名前の由来になった縄目の文様の他にも色々な文様だったり、粘土の紐を貼付けたデザインなど煮炊きだけではない目的で作られている装飾的な土器もあります。さまざまな文様や口縁の形などに注目しながらじっくりと観察してみてください。



弥生時代の土器(上段・下段左)

弥生時代になると装飾的な土器は少なくなり、煮炊き用の甕、貯蔵用の壺、食べ物を盛るための高坏(脚付の器)など用途が明確で飾りの少ない実用的な形の物が多くなります。その中でも時代(富士宮では中期から後期)により文様に変化していくのでよく観察してみてください。

古墳時代の土師器 須恵器(下段右)

古墳時代には、弥生時代からの素焼きの土師器と、朝鮮半島からもたらされた焼成技術により、灰色で硬質な須恵器が登場します。土師器は、器台や小型丸底土器、埴(壺)など供献用(お供え)から食器としての碗や坏(さかずき)などが作られるようになります。須恵器は一般化した坏や蓋、高坏の他、瓶(細い首が付いた壺)や甗(小型の壺)など新たな器種(器の種類)を加え古墳の副葬品として多くみられるようになります。

遺跡年表

飛鳥・奈良時代 (781年) (天智元年)	古墳時代 7000年頃 5000年頃 4000年頃	弥生時代 A.D.B.C 4000年頃 3000年頃 1000年頃	縄文時代 B.C 8000年頃 3500年頃 2500年頃 1500年頃 1000年頃	旧石器時代 3万7千年前 1万6千年前	時代 年代
富士宮の主な遺跡 遺構と遺物(旧石器・飛鳥・奈良初頭)	富士山噴火 上石敷(小泉) 遺跡の集落。	古墳文化の成立。 (前期)丸ヶ谷戸(大岩) 遺跡の前方後方形周溝墓。 南栗谷戸(黒田) 遺跡の方形周溝墓。 月ノ輪平(黒田) 遺跡。 (中期)北神田(大岩) 遺跡。 (後期)群集墳の出現。 大室(大岩・別所)安曇山古墳。	(晩期)辰野(大岩) 遺跡。 弥生文化の成立。 (中期)渋沢(淀師) 遺跡磨製石包丁、再葬墓。 (後期)泉(黒田) 遺跡の環濠集落。 滝戸(黒田) 遺跡の方形周溝墓。	縄文文化の成立。 (草創期) 定住の開始 狩猟・植物採取文化の成立 大鹿遺跡の集落。 (早期) 若宮(小泉) 遺跡の集落。 代官屋敷跡(小泉) 遺跡。 (中期) 遺跡の増大。 千居(上条)・滝戸(黒田) 遺跡。 杉田中村遺跡の土偶(安養寺所蔵)。	上石敷(小泉)・南部谷戸(黒田) 遺跡 有毛尖頭器。 小塚A(西山) 遺跡 石器。

縄文時代の色々な道具

せんとうき
尖頭器

大型の動物(ナウマンゾウやオオツノジカなど)を捕まえるための道具。棒などに取付けて、刺したり、投げたりして使用します。

せきぞく
石鏃

大型の他、中型から小型の動物(ニホンジカやイノシシや鳥類など)を捕まえるための道具。匂いに敏感な動物でも遠くから素早く攻撃できます。

いしのおの
石斧

いしくわ
石鋸

棒などに取付けて、木材や骨を加工したり、木を伐採したり、土を掘ったりすることに使用します。

すりいし
磨石・石皿

いしざら
磨石

硬い木の実などをすり潰して、食べやすいように加工するための道具。磨石の他にも敲いて使う敲石という道具もあります。

展示室案内 ②

市内の主な遺跡



大鹿窪遺跡の出土品



滝戸遺跡の出土品

小塚A遺跡

後期旧石器時代～縄文時代前期の遺跡です。遺跡の3キロ北側には大鹿窪遺跡があり、その関連も考えられます。

大鹿窪遺跡

縄文時代草創期を中心とした遺跡です。この時代では国内最大級の集落跡で、平野部での定住集落の様子が分かる数少ない遺跡であるため、平成20年3月に国指定史跡となりました。

若宮遺跡

石鏃が約2,000点出土するなど、弓矢による狩猟が確立した縄文時代早期を代表する集落跡です。

代官屋敷遺跡

縄文時代早期～前期の遺跡です。関東を中心とした土器と同様な物が作られ影響を受けています。調理用の炉穴跡や集石炉跡が多く発見されています。

滝戸遺跡

古くは縄文時代早期から人々の生活が始まり、中、後期には大いに繁栄しています。その後一時衰退しますが、弥生時代後期から古墳時代までムラが営まれていました。

世界遺産関連遺跡



浅間大社遺跡の出土品



村山浅間神社遺跡の出土品

浅間大社遺跡

湧玉池を含む浅間大社境内一帯に広がる遺跡です。

元富士大宮司館跡(大宮城跡)

平安時代末～戦国時代までの遺跡です。日常に使用する食器などの他に、祭りや儀式に使用された木製の人形も出土しました。立体で、写実的な物は、全国的にも珍しい物です。

山宮浅間神社遺跡

富士山をご神体として崇め祀る(とても大切な物と考え、お供え物をしたりお祀をする)ための場所だと考えられています。

村山浅間神社遺跡

富士山の「大宮・村山口登拝(信仰のための登山)道」の起点、富士修験の中心地として栄えていました。*特別な山での厳しい修行で超自然的な能力を習得し、里に下りて人々のためにお祈りをしました。

人穴富士講遺跡

富士山の溶岩流の中に出て来た洞穴「人穴」や富士講によって建てられた200基以上の碑塔があります。

住居復元模型



堅穴住居

掘立柱建物



住居の中の様子も再現

ここに載せきれなかった情報も沢山あります。埋蔵文化財センターに来て展示を楽しんで下さいね

